

東林館高等学校 通信教育実施計画

科目名(単位数)	論理・表現 I (2)				
対象年次	期別	必要面接時数	レポート数		
原則2年次	通年	8	6		
科目の概要	文法について、まとめられた構成を通じて学習して、日本語と異なる英語の特色に気づき、知識を整理する。				
科目の目標	文法事項について、表現する際に間違いやすいポイントなどの理解を深めて、英訳・日本語訳することができる。				
年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	スクーリング回	レポート回	試験範囲
	未来表現 受動態	未来表現/受動態に関する表現を身に着ける。	1	1	前期
	進行形 完了形	進行形/完了形に関する表現を身に着ける。	2	2	
	助動詞 受動態	助動詞/受動態に関する表現を身に着ける。	3		
	使役動詞 不定詞	使役動詞/不定詞に関する表現を身に着ける。	4	3	
	否定語 動名詞	否定語/動名詞に関する表現を身に着ける。	5	4	後期
	現在完了 現在完了進行形	現在完了/現在完了に関する表現を身に着ける。	6	5	
	接続詞 無生物主語	接続詞/無生物主語に関する表現を身に着ける。	7		
	仮定法	仮定法に関する表現を身に着ける。	8	6	
評価方法	<p>年度末の成績評価は下記の通り行う。                      レポート:50% スクーリング:15% 試験:35%                      レポート:教科書を活用し、取り組むこと。                      スクーリング:年間計画に従い、各自で予習・復習に取り組むこと。                      試験の得点:追試験の得点は、定期試験の得点と同等には扱わない。</p>				
単位の修得	<p>①レポート:締め切りまでに所定のレポートを提出し、合格すること。                      ②スクーリング:年間8時間出席すること。                      ③試験:前期試験、後期試験を受けること。</p>				
使用教科書等	NEW FAVORITE English Logic and Expressions(東京書籍)				
学習上の留意点	スクーリングの進行にあわせて復習をし、レポートに取り組みましょう。				